

龍涎香の島・奄美で 海の贈り物を 受け取っていく

発見、寄贈、展示、体験へ。

約8年前の一通の連絡から

始まった地域活動です。



【キット販売中】衣類を寄付してバラスポーツを
応援！



阪元佑輔さんが奄美大島の海岸で見つけた竜涎香（本人提供）

マッコウクジラの排泄（はいせつ）物で希少な香料「竜涎香（りゅうぜんこう）」が鹿児島県奄美大島の海岸で見つかった。鑑定した会社によると、奄美群島や沖縄はかつて竜涎香の漂着地として知られていたが、近年での確認は珍しいという。

発見したのは兵庫県芦屋市の阪元佑輔さん（25）。海岸で漂着物を使った「ビーチクリーニング」のため、日々

奄美で実際に起きた、 海の贈り物の物語



始まり：約8年前の一通の連絡

お茶会で「龍涎香」を知った高地道代さんが、アンバークリスジャパンへ連絡。奄美がかつて産地だったと知り、活動が動き出しました。



発見：奄美市笠利町の海岸で

龍涎香が実際に発見され、地域紙でも「希少な香料」として報じられました。



寄贈：2025年11月、奄美市へ

有限会社アンバークリスジャパンから奄美市へ龍涎香を寄贈。新聞・SNSでも紹介されました。



展示・体験へ広がる

奄美海洋展示館での常設展示、講演会、香り体験へと活動が広がっています。



新聞掲載

発見・寄贈・講演会の様子が
地域紙で取り上げられました

見つける、確かめる、 学ぶ、香る。



無料鑑定

浜辺で見つけたものを写真・動画で相談できる窓口。
2025年12月より専門鑑定を無償化。有限会社が担当。



子ども向け教材

龍涎香を入口に、クジラ・黒潮・ビーチクリーンを学ぶ
無料PDF教材。奄美市・教育委員会の後援取得済み。



調香講座・香り体験

実物を見て、香りを身体で感じる講座。SOW調香学校講師就任。奄美での講演会・体験会へ。



奄美支部

発見・寄贈・展示・体験・ビーチクリーンへ広がる地域
活動。奄美の人たちが主役になる場。



奄美の
砂浜に
漂着した
幻の香り

龍涎香

奄美海洋展示館で 見て・香って・学べる場所へ

寄贈された龍涎香が、地域の海洋文化と学びの入口になりました。
展示館という公共の場で、マッコウクジラ・漂着物・香り・地域の
記憶をつなぎます。



実物展示



香り体験



解説パネル



関連商品



奄美の人たちが 主役になる活動

支部長

高地 道代

Michiyo Takachi

約8年前、龍涎香を知りたいという思いからAGJへ連絡。地域資料や昔話の中に残る手がかりを集め、奄美側の活動の中心を担ってききました。

地域資料収集

活動の中心

副支部長

石川 恵

Megumi Ishikawa

元水族館トレーナー。イルカ・アシカの飼育経験を経て奄美へ移住。海の教育・体験活動へつなげています。

元水族館トレーナー

体験活動

奄美で見つかった海の贈り物を、
奄美の人たちが中心になって受け取り、
AGJと展示館が支えます。

先生・施設・
海に関わる方へ
そのまま渡せます



スマホのカメラで読み取ると
詳しい資料が開きます

詳細PDF（15ページ版）

[agj.co.jp/amami-branch/
amami-branch.pdf](http://agj.co.jp/amami-branch/amami-branch.pdf)

発行: 日本龍涎香協会 奄美支部
有限会社アンバークリスジャパン